

令和 6 年度 稲沢市地域自立支援協議会 第 2 回就労支援部会 議事要旨

【日 時】令和 6 年 7 月 16 日（火）午後 2 時～午後 3 時 30 分

【場 所】稲沢市役所 東庁舎 1 階 第 8 会議室

【出席者】就労支援部会委員 6 名 事務局 5 名

【欠席者】なし

【議 事】

あいさつ（部会長）

1 報告事項

（1）就労支援事業所連絡会報告

就労支援事業所連絡会（7 月 1 日）について事務局から報告（質疑なし）

2 協議事項

（1）今年度の取り組み（案）について

（ア）障害者の就労環境の充実

- ・障害者雇用の普及促進
- ・雇用企業と福祉事業所の連携強化

各事業について、資料により事務局から説明

委員 A 10 月 9 日（水）に R 6 年度の企業交流会を予定している。グループワークを行うため、学習会というよりは交流会というイメージ。現状の企画案を説明する。企業や就労支援事業所にはそれぞれオンラインで参加していただく。スロープと関わりのある一宮市・稲沢市の企業から 2 社、一宮市の茶久染色(株)と、稲沢市のエア・ウォーター防災(株)に出していただく。ちなみに、エア・ウォーター防災(株)は昨年度、企業見学会にも参加していただいた。各社の事例を通して、どんな障害者雇用をしているのか対談をしたのち、まとめと質疑応答を行う。第二部では、同じような職種の企業 5 社 1 グループに分けて交流を図る。各企業の障害者雇用に関する取り組みや困りごと、解決方法などを話し合い、支援機関はファシリテーターとして入る。講師依頼文は今月中に送る。昨年度のチラシには、見学会も含めて全部盛り込んだが、今年度は交流会のものは別に作る予定で、一宮市にある IT 関係の B 型事業所に発注予定。各事業所にデータを配布し、それぞれで印刷をしていただき、なるべくお金をかけないようにやっていきたい。8 月上旬にチラシが間に合えば、サポートデスクの案内に同封する。オンライン交流会の参加者を、見学会に引っ張りたい。一宮市のほうでは事業所見学会をすでに準備しており、11 月 14 日 15 日と日程も決まっている。見学先は、就労移行支援事業所と、チラシを作る B 型事業所で、稲沢市と差別化は図れると思う。

部会長 この件に関して、他に意見はあるか。

委員 A 稲沢市で会場をお借りする際、Wi-Fi は使えるか。（使えるよう手配する。）

- 事務局 サポートデスクから企業への案内の送付は、稲沢市の企業も対象か。
- 委員 A 対象である。ちなみに、企業見学会は3社で行うのか、それによってチラシの盛り込み具合は変わる。
- 部会長 3社は多いかもしれない。各委員の評価を聞きながら、どこの会社で行ったらいいかを選択したい。
- 委員 A 福祉事業所の出展がセットとなると、複数箇所の方が良いか。
- 委員 B オンライン事業について、昨年度、一宮市の参加が25社で、稲沢市では集まらなかった。そこを分析するのが先ではないか。参加者が少ない上に、見学会が3社あるさらに分散するのではないか。
- 事務局 実績としては、令和3年度に実施したオンライン学習会は約10事業者の参加だった。令和5年度にはこれ以上を望んでいたが、結果は申込ゼロだった。
- 委員 A 1つ、一宮市は部会員が多い。部会員の中に大手就労移行支援事業所があり、そこと繋がっている企業に連絡をかけている。
- 委員 B 改善しながらテコ入れしていかないと、また少なかったという結果に終わってしまう。
- 委員 A 一宮市の企業交流会には稲沢市内の事業所も多く参加しているため、その後に、稲沢市で開催しても参加率が減ってしまうと考えられる。
- 委員 C それは一宮市のほうから、稲沢市の企業にも告知が入っているからということか
- 委員 A 一宮市の企業交流会は、対象を一宮・稲沢市に限らない。稲沢市は、稲沢市の企業と繋がることを目的にやられている。その点は素晴らしいと思う。一宮市の就労支援部会は企業交流ができることが目的、という感じでスタンスが違うイメージ。企業説明等で20分、質疑応答を5分程度。その後のグループワークで、聞けなかった部分を聞く。名古屋の特例子会社のかたも参加されていた。
- 部会長 集まる企業が少ないことが、我々の活動の中では課題。それを解消するため、1つは情報を周知すること。もう1つ、9月に行われる障害者雇用促進キャンペーンでは、法定雇用率未達成の企業を訪問する。未達成の理由や、こうした事業になぜ参加されないのか等、聞きたいことがあるため、私も部会長として今年度、キャンペーンに参加する予定。一宮市の企業交流会には、稲沢市の企業も参加しているため、決して興味がないわけではないと思う。企業交流会に参加された方を、次の企業見学会にお誘いし、実際に現場を見ていただき、さらに交流を深めていくことで、障害者雇用をしていない企業の雇用に繋がるのではないか。そういう思いで、一宮市と合同の企業交流会を進めている。商工会議所の会員へのチラシを活用した地道な周知活動には意味があると思っている。
- 部会長 周知という意味においては、ハローワークの協力も必ず必要。製造業でも色々あり、これまでわが社と少しイメージが違っている企業にとっては、新たな企業に見学先として参加していただくことは効果が期待できる。3社が多いというこ

とであれば、2社に絞ってもいい。候補企業数についてどうか。

委員 A 本音で言えば1社でいい。今年はこの企業、としたほうが分かりやすい。定着支援で会社訪問するときは、直接足を運び、その担当者の顔を見ながら事業案内をするため、説明しやすいほうが良い。

委員 D 稲沢市の就労移行支援事業所に依頼することもあると思う。1社に絞るか複数にするかは難しい。

委員 B 事業所が出展してPRすることも大事だと思う。稲沢まつりなど、商工会議所として携わっているイベントに「福祉事業所販売ブース」として参加も可能。

部会長 福祉事業所の出展は好評で定着してきているが、新しい見学先企業に了解していただけるかはわからない。周知の仕方においても、就労移行支援事業所をお願いして企業を誘っていただくのも必要である。1社に絞り、企業をたくさん集めることに力を入れるほうがいいという意見もある。

委員 C どれだけの企業がアクセスしてくれるかが焦点であり、2社でも3社でもどちらでもいいというのが素直な気持ち。

事務局 まず、新規の見学先企業に相談し、見学会開催に向けて調整したい。福祉事業所の見学会は別のA型事業所でやるのが良いか。

委員 C A型事業所の見学会は入れなくてはいけないのか。そもそも、どういう目的でA型事業所の見学会を開催するのか。

委員 A 「福祉から就労へ」という観点で、A型事業所での訓練をみて一般企業へ行けそうな人がいることを企業に見ていただくという目的がある。A型事業所の指導員やサービス管理者、経営者にも企業のかたと関わっていただくことで、A型事業所の訓練が一般企業における就労に近づけられると良い。

事務局 A型事業所としてはどうか。

委員 E 見ていただくことはすごく重要だという思いと、そこに注力するより、一般企業が取り組んでいることを重要視したほうがいいのか、という思いがある。

委員 A すろ一歩の登録者の中で、A型事業所から一般就労した人がどれくらいいるかを調べたところ、貴事業所から就職された元利用者は定着率が高い。福祉から就労し頑張って取り組むが、半年や1年でダメになってしまうことがあるなか、長く続いているかたがいる。スポーツジムの清掃など、一般の仕事に近いような訓練もしている。

委員 C 定着支援的なものはどうか。

委員 E 定着支援的なものは、正直言うとそこまでやれていない。あくまでも、A型事業所は時給で賃金が発生しているため、訓練は厳しくやっている。面接でも結構採用率は低い。障害者だから誰でも働けるという状態ではない。ちなみに、事業所での作業ではなく、スポーツジムの清掃をしている現場を見ていただくことも良いのでは。もちろん、スポーツジムの許可は必要であるが。

部会長 そういう事業所の見学というのは意味があると思う。見学会を行う場合、参加人数や駐車場はどれくらいなら可能か。

委員 E 少人数で、5、6 台の駐車なら可能

事務局 事業所での作業を見るにせよ、スポーツジムなど施設外就労の様子を見るにせよ、追って、委員 E と調整・相談したい。

部会長 企業見学会については、毎年決まった企業だというイメージにも繋がりがねない。1 社に絞り、今年は A 社、来年は B 社とするほうが周知しやすいかもしれない。一度、見学会の新規企業と調整し、その返答次第で他社を検討することとする。その他、いなざわ特別支援学校への見学会、福祉まつりでの「お仕事体験」は引き続き実施する方向で進めたい。

ちなみに、高等学校卒業者の就職説明会に、いなざわ特別支援学校として初めて参加したが、どうだったか。

委員 D 事前にいただいた面談の企業リストは 4 社だったが、実際は 11 社に来ていただいた。今回初めて名刺交換をした企業から学校へ求人票を送ってもらえた。直接、実習や採用には至っていないが、今後、つながりをさらに深めていけたらと思う。

部会長 研修会について、意見等あればお聞かせ願いたい。

委員 A 就労支援事業所連絡会の報告書に書かれている研修についての意見は、連絡会の中から上がってきた声であり、非常に大切なものだと思う。その声に基づき、進めてほしい。

3 その他

特になし